

# 宜野湾市教育委員会第 13 回（定例）会議録

教育長 \_\_\_\_\_

教育委員 \_\_\_\_\_

開催日時：平成 28 年 12 月 22 日 開会 15：30 閉会 16：03

開催場所：

出席委員：知念春美教育長、諸喜田徹教育長職務代理者、宮城邦子委員、  
我謝修委員、平良明子委員

出席職員

【教育部】教育部長 島袋清松、教育次長 伊佐英明  
(総務課) 総務係長 城間香代子

【指導部】指導部長 仲村宗男、指導次長 桃原忍子  
(文化課) 文化課長 比嘉洋、市立博物館学芸係係長 平敷兼哉

議事案件

議案第 35 号 平成 28 年度課長級嘱託職員の人事選考について

議案第 36 号 宜野湾市史編集委員会委員の委嘱について

知念教育長	<p>本日の出席委員は4名で定足数を達しております。</p> <p>ただいまから、平成28年第13回 宜野湾市教育委員会定期会を開会致します。本委員会で審議します案件は、2件であります。本日の会議録署名人は、平良明子教育委員を指名したいと思っております。よろしくお願いいたします。</p> <p>11月30日開催の第12回定例教育委員会の会議録の承認を行います。会議録の署名委員は、宮城教育委員となっております。会議録につきましては、既に配布してございますが、字句の訂正を除き、承認して頂きたいと存じます。</p> <p>一同異議なし</p>
知念教育長	<p>ただいま、第12回定例教育委員会の会議録について、承認いただきました。会議終了後、宮城教育委員には署名をお願い致します。休憩します。</p>
知念教育長	<p>再開します。</p> <p>日程1「議案第35号 平成28年度課長級嘱託職員の人事選考について」を議題と致します。本議案は、人事に関する案件であることから非公開とすることをお諮りしたいと思います。審議を非公開といたしますことに、ご異議ございませんか。</p> <p>一同異議なし</p>
知念教育長	<p>異議なしということですので、日程1、議案第35号の審議については非公開といたします。本件に対する担当者の趣旨説明を求めます。教育部長。</p>
島袋教育部長	<p>議案第35号平成28年度課長級嘱託職員の人事選考について。平成28年度課長級嘱託職員の人事選考について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第25条第2項第4号に基づき教育委員会の議決を求める。平成28年12月22日提出。宜野湾市教育委員会 教育長知念春美。提案理由でございますが、平成28年12月25日付で宜野湾市はごろも学習センター所長、大城進氏が退任するため、後任人事について教育委員会の議決を得る必要がある。ためでございます。次頁、2頁をお願いします。後任所長を予定しております、久場氏の履歴書でございます。氏名 久場明子、本籍、住所、生年月日は記載のとおりでございます。以下、学歴、職歴につきましても記載のとおりでございますが、久場氏は、平成25年3月から西原町立西原南小学校の校長を3年間努められ、平成28年3月に定年退職されております。現在は、明星大学非常勤講師をされております。主な、教育研究業績としましては、平成15年に、宮古教育事務所の指導主事補として各学校の校内研修等で指導助言、平成18年には、沖縄市立教育研究所研究員の指導講師同じく平成18年に、沖縄市立教育委員会主催の学力向上実践大会における公開授業の指導助言、平成26年には、うるま市立教育研究所研究教員の指導</p>

<p>知念教育長</p>	<p>講師などが、久場 明子氏の主な教育研究業績でございます。</p> <p>以上が、議案第 35 号、平成 28 年度課長級嘱託職員の人事選考について、のご説明になります。ご審議の程宜しくお願い致します。</p> <p>&lt;非公開の審議&gt;</p> <p>これより「平成 28 年度課長級嘱託職員の人事選考について」を採決致します。本件は原案のとおり承認することに御異議ありませんか。</p> <p>一同異議なし</p>
<p>知念教育長</p>	<p>御異議ありませんので、本件は原案のとおり承認されました。これにて、「平成 28 年度課長級嘱託職員の人事選考について」を終了致します。</p> <p>続きまして、日程 2「議案第 36 号宜野湾市史編集委員会委員の委嘱について」を議題と致します。本件に対する担当者の趣旨説明を求めます。教育部長。</p>
<p>島袋教育部長</p>	<p>それでは、議案書 3 ページをお開き下さい。議案第 36 号 宜野湾市史編集委員会委員の委嘱について 別紙の者を宜野湾市史編集委員会委員に委嘱したいので、宜野湾市教育委員会の権限に属する事務の一部委任等に関する規則第 2 条第 11 項の規定により、教育委員会の議決を求める。平成 28 年 12 月 22 日提出 宜野湾市教育委員会 教育長 知念 春美。提案理由でございますが、宜野湾市史編集委員会委員の任期満了に伴い、宜野湾市史編集委員会規則第 3 条第 2 項の規定により、新たに委員を委嘱する必要があるためでございます。</p> <p>それでは、4 ページをお願いします。宜野湾市史編集委員会委員名簿（案）でございます。委嘱期間としましては、平成 29 年 1 月 1 日から平成 30 年 12 月 31 日までの 2 カ年でございます。市史編集委員会は、市史編集に関する調査及び資料を収集するとともに、市史編集に関し、基本的な大綱に関する事項を審議するため、宜野湾市史編集委員会規則第 3 条第 1 項の規定において、委員は 15 名以内で組織するとなっておりますので、今回、10 名の委員を選定しております。又、10 名中、継続委員が 8 名、新任委員が 2 名の案となっております。継続委員が多いことについての理由でございますが、現在の市史編集委員は、編集中の市史、戦後資料編「伊佐浜の土地闘争」編に関して専門的知識を有する学識経験者を中心に構成しております。そのため「伊佐浜の土地闘争」編に関する編集方針や構成内容の考え方を理解した上で、事務局が委員から編集助言を頂きながら発刊まで作業を進めて参りますので、円滑な事業実施の観点から継続委員が多いことを、ご理解、頂きたいと思っております。</p> <p>それでは、名簿順に選定理由について、ご説明申し上げます。先ず、お一人目が、江上幹幸（えがみ ともこ）氏でございます。元沖縄国際大学教授で考古学を専攻されております。宜野湾市在住で、地元に住む研究者としての市史編集の取り組みや、編集に対する助言を受けるため、継続をお願いしたいと考えており</p>

ます。お二人目の、崎浜靖（さきはま やすし）氏は、沖縄国際大学教授で、歴史地理学を専門とされております。宜野湾市の地名やその特徴に詳しいだけでなく、県外に残されている地域資料に関しての情報にも精通しており、宜野湾市に関する新資料の情報提供も受けることができますので、委員の継続をお願いしたいと考えております。三人目の、藤波潔（ふじなみ きよし）氏は、沖縄国際大学准教授で、専門は戦後史でございます。選任理由といたしましては、現在編集中の「伊佐浜の土地闘争」編の刊行後に計画する市史「教育編」を進める上で、編集委員に先立って教育編に関する資料収集をお願いしたいと考えております。また、藤波氏は、歴史教育も専門であり、本市の教育振興基本計画策定委員を務められた経験を活かして、市史の普及・活用の観点からも助言をお願いしたいと考えて選定しました。新任の委員でございます。四人目は、仲村元惟（なかむらもとのぶ）氏でございます。これまで数多くの市史の編集、執筆に携わってこられた地元の郷土史家でございます。また、編集中の「伊佐浜の土地闘争」編の専門委員でもございまして、土地闘争の様子を実際に知る方でありますので、今期も委員の継続をお願いしたいと考えております。五人目の吉浜忍（よしはましのぶ）氏は、沖縄国際大学教授で、沖縄戦や戦後史の専門家で、現在の編集委員会の委員長でございます。編集中の「伊佐浜の土地闘争」編の専門委員でもあり、沖縄県史や沖縄県内の市町村史の状況にも詳しく、編集に関する適切な助言をいただいておりますので、委員の継続をお願いしたいと考えております。六人目の辻雄二（つじ ゆうじ）氏は、琉球大学教育学部教授で、地域の教育課題の解決にむけた共同研究などを行っております。市史の歴史教育の観点からの助言や、今後、「教育編」を進める上で、必要な委員でございますので、継続をお願いしたいと考えております。七人目は、波平エリ子（なみひら えりこ）氏でございます。沖縄大学や沖縄国際大学にて非常勤講師を務められており、沖縄民俗学のご専門でございます。以前、市史の民俗編の調査員を務めた経験を御持ち出で、宜野湾にも造詣の深い方でございます。また、他市において街づくり事業にも参加され、市史を用いた活用の面からも助言をいただきたく、継続をお願いしたいと考えております。八人目の松川章（まつがわ あきら）氏は、浦添市教育委員会文化課の課長で、大謝名区出身の方でございます。大謝名獅子舞保存会の前事務局長も務めており、地域の歴史文化に精通し、文化行政を含めて郷土史家ということで継続をお願いしたいと考えております。九人目の高江洲敦子（たかえすあつこ）氏は、沖縄国際大学の非常勤講師でございます。沖縄民俗学の専門でございます。宜野湾の民俗調査員の実績もあり、民俗情報に詳しい方でございます。大学の先生方への地域情報の提供と市史の活用の観点から助言をいただきたく、継続をお願いしたいと考えております。最後の、十人目の納富香織（のうとみ かおり）氏は、沖縄県教育庁文化財課の史料編集班の指導主事を務めております。近現代史がご専門でございます。現在、沖縄県史の現代編の編集を担当されておりますので、伊佐浜の土地闘争編刊行後の「教育編」を進める上で編集委員に加え、円滑に編集作業が進められるようにしたいと考え、選定しております。お二人目の新任委員でございます。

	<p>以上、10名の委員の選定理由でございます。次の5頁には、議案の関連資料と致しまして、市史編集委員会委員の新旧対照の名簿を添付してございますので、併せてご参照頂きたいと思っております。</p> <p>以上が、議案第36号 宜野湾市史編集委員会委員の委嘱についてのご説明を申し上げます。ご審議の程、よろしくお願い致します。</p>
知念教育長	本件に対する質疑を許します。質疑のある方は挙手をお願い致します。
平良教育委員	教えて頂きたいのですが、編集中の伊佐浜の土地闘争は何年ぐらい編集されていますか。
平数学芸係係長	伊佐浜土地闘争編は、平成21年から平成30年の刊行に向け今作業を進めているところであります。
平良教育委員	平成30年度に向けてですね。
平数学芸係係長	はい。30年度に刊行を予定しております。
知念教育長	よろしいでしょうか。他にございますでしょうか。諸喜田委員お願いします。
諸喜田教育委員	5頁の名簿の10番の比嘉悦子さんの任期が1年となっているのはなぜでしょうか。
知念教育長	悦子氏の期間が短いという事について。では、平敷係長お願いします。
平数学芸係係長	10番の比嘉悦子委員は、現在宜野湾市文化財保護審議会の委員も勤めており、文化財保護審議会の会長職と兼務でもありますので、今回は推薦しております。また、委嘱年度については平成27年度と明記しておりますが、遡ると過去に何期か委員を務めている経歴がございますので、加算すると複数年となります。これらの理由により、今回は新たに納富さんを推薦したいと考えております。
知念教育長	よろしいでしょうか。他にございますでしょうか。宮城委員お願いします。
宮城教育委員	3番の県立博物館美術館の館長さんでいらっしゃる田名真之。この方はいたしかたないとは思いますが、専門が琉球史でした。比嘉悦子先生は民族音楽となっておりますが、この辺のカバーが出来ると、つまり今回の新しいメンバーでぬけた部分をカバーできるものと判断して事務局は推薦していると考えてよろしいでしょうか。
知念教育長	平敷係長お願いします。

平数学芸係 係長	お答えします。田名真之氏に関しましては、当館の博物館協議会委員でもありましたが、沖縄県立博物館の館長職に就き、多忙ということで今回辞退したいということがあります。今回の委員でも琉球史に関しては十分カバーできるものと考えています。また、博物館協議会委員や、文化財保護審議会の方にも琉球史の専門家がいらっしゃいますので、そちらからもカバーできると考えています。
知念教育長	宮城委員をお願いします。
宮城教育委員	以前、宜野湾市の市史編集に向けてもっと読みやすいような、もっと市民に親しめるような形で編集したいと話があったのを記憶しております。大きな大綱を策定して進めていくと、2年ぐらい前に係が統合される時に説明があったと思います。今回は、今まで継続してきたものをそのまま、新たに大綱を作らずに進めていくということでしょうか。
平数学芸係 係長	刊行計画については大綱に近いものがございます。今回の点検評価の方でご説明しましたが、年度内で整理しようと考えていますので、それらを踏まえて今回の市史編集委員の選出となっております。
宮城教育委員	市史は大事な資料だと思います。どんなにデジタル化が進んでも冊子に残すというのは意義がすごく大きいと私自身捉えております。大綱を作ってより市民に親しみやすくすることも大事ではありますが、しっかりと文字に起こして、冊子として残していくというのは地道でこつこつと大変な作業とは思いますが、この様にすばらしいメンバーを推薦してきていますので、良い物ができらるうなと思っています。期待していますので頑張ってください。
知念教育長	他にございますでしょうか。我謝委員をお願いします。
我謝教育委員	この市史編集委員会は年に何回くらい集まるんですか。必要に応じてですか。
知念教育長	平敷係長。
平数学芸係 係長	年に2回ないし、3回でございます。
我謝教育委員	現在の状況はどうですか。忙しいですか。
平数学芸係 係長	伊佐浜の土地闘争の方が追い込みに入っていますので、最後をどのようにしてまとめるかということが1つ。今年度刊行するものとして、民俗芸能である宜野湾のサングワチャー調査報告書を刊行します。刊行に向け先日、市史編集委員会を開き、今の進捗状況の確認等を行いました。またその会での意見を受けて2月

	<p>から3月までにもう一度開催する予定です。その時には、販売価格の設定や、配布方法などに関して編集委員会の意見を伺い、教育長に報告する予定となっております。</p>
我謝教育委員	<p>私がなぜ忙しいかと聞いたかという、規則では、委員会の組織は15名以内をもって組織するってなっていますが、例年10名の委員です。忙しい時期は人数を増やすということは考えませんか。これは予算との兼ね合いなのか。それとも市史については、10名が適正と考えているのかお聞きしたい。</p>
平数学芸係係長	<p>規則では15名の定員となっているのですが、担当としましては、10名の方が意見がまとまりやすいと考えております。やはり専門家の先生方でいらっしゃるのです、様々な思いや意見がございますので。</p>
我謝教育委員	<p>例えば、過半数の判断をもって決定するとかの場合、奇数の数字が適正なのかなど。また、10名だと自分の持つべきもの、担当するのが厳しくないかなど。人数を5名増やせば担当する量は3分の2になりますよね。そうすれば少し楽になるかなど思ってお聞きしました。以上です。</p>
知念教育長	<p>他に。宮城委員。</p>
宮城教育委員	<p>サングワチャーと先ほど平敷さんの方からあったので、比嘉悦子先生は大山の地域の総合行事があった時にサングワチャーとの兼ね合いで取材にいらっしやっていたんです。宜野湾市の様々な地域行事をまとめるため、大山の行事がどういうものかを観るために学生さんを連れていらしていたんです。委員会の会議とは別にそのような取組を委員の先生方はなさっているのでしょうか。</p>
平数学芸係係長	<p>はい、あると思います。</p>
宮城教育委員	<p>表に出ない部分、先ほど会議の回数という質問がありましたが、やはりそれプラス、様々なデータを収集したりする活動がないと、会議でも意見を述べにくいのかと思ったのですが、その辺はカバーされているのですか。</p>
知念教育長	<p>平敷係長お願いします。</p>
平数学芸係係長	<p>編集委員の場合、市史の大綱や刊行計画を決める市史編集委員会が大元締でして、その下部と申しますか、各巻のテーマに沿って調査や原稿執筆を行う専門委員会という個別の担当の先生方がいます。比嘉悦子委員は、サングワチャーの専門委員も兼ねております。市史編集委員の高江洲敦子委員がサングワチャー専門委員のメンバーでもありますので、比嘉悦子委員が抜けた分は高江洲敦子委員がカバーするということと、たとえ編集委員を抜けても専門委員として残りますの</p>

	<p>で、比嘉悦子委員の意見としては反映されるような体制をとっています。</p>
宮城教育委員	<p>とてもよくわかりました。安心しました。ありがとうございます。</p>
知念教育長	<p>他にございますでしょうか。諸喜田委員お願いします。</p>
諸喜田教育委員	<p>大変気になる方がいらっしゃるんですけど、40年近くやられている仲村元惟先生ですか。もしかして伊佐浜闘争の当事者なんですか。</p>
平数学芸係長	<p>はい、仲村先生は当時、普天間高校生で高校生ながらも闘争の状況を知っている方です。今、年齢が79歳だと思います。編集委員会立上げ当初からいらっしゃいます。事務局としましては、伊佐浜土地闘争の当時の様子を実際に知る方の一人であるものですから、今期の事業二ヶ年間、刊行するまではお願いしたいと思っています。</p>
知念教育長	<p>他にございますでしょうか。それでは質疑も尽きたようですので質疑を終わりたいと思います。ご異議ありませんか。</p> <p>一同 異議なし</p>
知念教育長	<p>ご異議ありませんので質疑はこれにて終了致します。これより「宜野湾市史編集委員会委員の委嘱について」を採決致します。本件は原案のとおり承認することにご異議ありませんか。</p> <p>一同 異議なし</p>
知念教育長	<p>ご異議ありませんので本件は原案のとおり承認されました。これにて宜野湾市史編集委員会委員の委嘱について」を終了致します。</p> <p>本日、審議致しました議案等の字句の訂正等につきましては、教育長委任としてよろしいですか。</p> <p>一同 異議なし</p>
知念教育長	<p>以上をもちまして本委員会に付議されました案件の審議は終了しました。休憩します。</p>
知念教育長	<p>再開します。本日の会議はこれにて閉会致します。お疲れ様でした。</p>